

令和6年度 1学期 始業式 式辞

みなさん、おはようございます。春の深まりを感じる季節となりました。昨年度5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しようやくその対応に区切りをつけることができました。教育現場では手探りではありましたがみなさんの健康や安全を担保しつつ学びを止めないとの強い信念のもと教育活動を推進してきました。同時に、変転著しい国際社会や自然環境の中で「できない」ではなく「どうすればできるか」など、解決策を深く思考する場面に恵まれ、結果、多くのことを学ぶことができました。ここ数年の様々な変化は、生徒のみなさん初め、我々教職員に総合的な人間力の向上をもたらしたように思います。

令和6年度の始まりです。高められた人間力のもと共に希望と理想を描き新たな歩みを始めましょう。

始まりの時、みなさんに2点お伝えします。まずは【対話を深めること】についてです。先進テクノロジーの飛躍的な進歩でデジタル社会が勢いよく進んでいます。ですので、現在はネット空間での対話が少なくありません。当然ながら、IT企業が提供するプラットフォームを介してです。発信や受信のスピード感がありますが、鋭く切りつけるような誹謗中傷、誤った情報、個人情報への漏洩など緊急性が高まる課題は深刻です。また、そこでは、正と否といった対立構造が簡単に完成し、時間を掛けて意見の食い違いをまとめていく和の心や合の心が欠落しているように感じます。みなさんには、価値観の違う他者からの意見を受け入れ、学び、合の心・和の心を育みことができるよう、デジタルを効果的に活用した対話とともに、デジタルを活用しない対話をより深めていただくことを期待します。次に、本校のスクールミッションについてです。その骨子は、生徒のみなさんはじめ、関係保護者のみなさん、教職員等、本校関係者すべてのみなさんが心身ともに健康な状態を維持できる、ウェル・ビーイングな学校づくりとしています。実現に向けては合の心や和の心を育む深い対話と合致し、周囲への思いやりがもっとも重要です。思いやりの信条を育み、ミッション実現に向け協力願います。

終わりになりますが、本年度が本校関係者すべてのみなさんにとって飛躍の年となりことを祈念して式辞とします。

令和6年4月8日

校長 藤田繁也